

2023 年度活動報告

2024 年 3 月発行 (株)近江兄弟社 ニコニコ推進委員会



# にこにこ通信

「受けるよりは 与える方が幸いである」  
(使徒言行録 20 章 35 節)

2023 年度を終えて

ニコニコ推進委員長 辻 昌宏

いつもニコニコ活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

元旦に発生しました能登半島地震では多くの尊い命が奪われ、そして未だ多くの方々が避難生活を余儀なくされています。この災害により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。復旧がなかなか進まない被災地の光景を見ますと気持ち下がってしまいますが、世界有数の地震大国であり、台風の通り道としても知られている日本に住んでいる限り、誰も自然災害と無縁ではられません。能登半島の姿は私たちの未来であり、過去でもあります。社内においては募金を呼びかけ、救援・復興支援活動のため石川県の受付窓口へ送金させていただきましたが、今後も被災地の皆さまの安全と一日も早い復興

を支援できるよう、経済活動を行っていききたいと思えます。

私たちは約 50 年前に倒産の危機を経験しましたが、多くの方からご支援をいただいたお陰で再建を果たし、現在も事業を継続することができております。そのご恩に報いるものとして始められたのがニコニコ活動で、かれこれ 40 年以上続いています。当時の不安な気持ちや温かなご支援があったことを知る者は現在の会社には誰もおりません。しかし、経営環境の変化から厳しい状況がありつつも、それら乗り越え事業が存続できているのは、多くの社会の方からのご支援、そして先輩社員の努力があったからこそ感謝報恩の気持ちを持つことにこれからも変わりはありません。

今年度は 4 年ぶりにニコニコチャリティバザーを開催することができました。久しぶりの開催で少

し不安なところがありました。地域の皆さま、仕入先や取引先の皆さまの変わらぬご支援に支えられ、盛況のうちに終えることができました。これらによってニコニコ活動の大きな収益を得ることができましたが、それ以上にコロナ禍で疎遠になっていた近隣の方や社員同士の交流、心のつながりができたのではと思います。今年度の収益金につきましては、様々なハンディキャップを持つ方々を支援されている団体様、また諸事情により家族とともに暮らすことが叶わない子どもたちの自立支援、またアジアの山岳地域に住む子どもたちの教育支援のためにお届けいたしました。ご支援を賜りました皆さまに心より感謝を申し上げます。

感謝



## チャリティバザー（本社）を開催しました。

11月11日、コロナ禍を経て4年ぶりにニコニコチャリティバザーを本社で開催することができました。久しぶりの開催ということもあって今回が初めての参加となる社員も多く、また何度も参加した経験がある社員にとっても久しぶりのバザー、久しぶりのお客様との直接の触れ合いの時間は懐かしくもあり新鮮で、心が躍る1日になりました。

入社2年目となる今年度、バザーに初めて参加させていただきました。私は食堂部の担当で終始屋内での作業だったので、外に出た際には強い風が吹く中たくさんのお客様が門前でお待ちくださり、開門のカウントダウンを終えると同時に一斉に入場された光景を目にすることができました。それはとても圧巻で、バザーを心待ちにしてくださった方がこんなにも大勢いてくださったということに胸が熱くなりました。

食堂部での作業が一段落した後、は売り場の手伝いにまわらせていただきましたが、その中で私が一番目に焼き付いたのが皆さんの笑顔です。売り手側、お客様側のみんなが笑顔であふれ、会話を楽しむ姿が大変印象的でした。普段味わうことのできない貴重な経験ができたことや、何日も前から細かく準備をしてくださった社内の方皆さん、そして足を運んでくださったすべての方に感謝の気持ちを忘れず、これからの日々の業務においても尽力したいと思います。

信頼性保証本部

三石 友里恵



## ニコニコ訪問

### 八幡学区社会福祉協議会

今年度のニコニコチャリティバザーの開催にあたり、近隣自治会の回覧板にニコニコチャリティバザーのご案内ちらしを入れさせていただきましたこと、八幡学区福祉協議会様とご縁ができました。こちらでは、2016年から定期的に子ども食堂や親子食堂の開催に取り組んでおられます。「地域ぐるみで子どもを大事にする垣根のない居場所づくり」を目指して活動されている地域の皆さまの



お役に少しでも立てればと思います、献金と商品をお届けさせていただきます。皆さんと一緒に昼食もいただき、今後も様々な交流を通して、継続した繋がりを持たせていただければと思います。



### 止揚学園（8月）

今回、ニコニコ訪問で止揚学園に伺いました。本来は皆さんとお話をしたり一緒にお茶をしたりする予定だったのですが、体調不良の方がいらつしやるとのことで、歌を聴いたりお話ししたりなどは難しい状況になってしまい残念ながら交流は叶いませんでした。

しかし、帰り際に2階の窓から私たちが見えなくなるまで手を振り、声をかけてくださり嬉しく思

いました。

新しいプールや建物の説明などは聞けましたが、皆さんとお話が出来なかつたので、もしまた機会がありましたら伺ってお話しできたらなと思います。

製造部 小澤 浩介

初めて止揚学園を訪問させていただきました。学園の方々の交流は叶いませんが、職員の方々が温かく出迎えてくださり、緊張していた心がほぐれました。

到着してすぐにカラフルで楽しい雰囲気のある新館が目にとまり、さらにその上にあるトンボのオブジェが象徴するように周りには自然が広がっており、皆さんが伸び伸びと生活しておられる様子がありました。また、新しく完成した本館や西館は落ち着いたシックな色合いで、2棟の間にはヨーロッパの街道をイメージさせるスペースがあり、心地よい風が流れていました。壁に貼られたタイルも学園の方が下書きなして描かれたとのこと、手作りの美術館に似るような楽しい空間でした。

また、福井園長の「職員、入居者、その家族を分け隔てなく「仲間たち」として接している」というお話が印象的でした。仲間の皆さんは私たちを見て笑顔で手を振ってくくださり、差別や偏見なくお互いを「仲間」として認め合う大切さを改めて学びました。人への優しさや思いやりは、言葉を介さずとも伝わることを実感できた貴重な訪問となりました。

商品開発部 井上 聖弥



その他、9月上旬にはニコニコ委員が近江八幡市内の作業所6カ所を訪問して、献金をお届けしました。4年振りにようやく一緒に作業をしたり、交流したりする時間も持つことができました。



また、12月にも作業所の他、お世話になっている教会、AEFA、止揚学園に献金をお届けしました。夏に止揚学園を訪問した時には交流ができませんでしたが、12月の訪問では、一緒にお菓子をいただいたり、仲間たち皆で作った大きなクリスマスツリーに飾り付けをしたりして楽しい交流の時間を過ごすことができました。



### 2023年度 実績報告書

期間 2023年3月1日～2024年2月29日

(単位:円)

期首募金残高	4,406,541		
<b>2023年度募金総額</b>	<b>2,729,641</b>	<b>2023年度献金総額</b>	<b>2,554,902</b>
個人献金(3月度～2月度)等	1,339,408	止揚学園	900,000
本社バザー収益金	919,185	近江八幡市内作業所(6カ所)	480,000
本社ロビー売上金(3割)	80,206	滋賀県児童福祉入所施設協議会	300,000
ハナハ～ハー名刺(3,300枚)	33,000	アジア教育友好協会(AEFA)	300,000
FSC認証名刺(4,800枚)	24,000	八幡学区社会福祉協議会(はちまん子ども食堂)	100,000
ハナハ～ハー名刺OAS(2,400枚)	31,000	その他のクリスマス献金 等	181,210
ありがとうカード(170枚)	9,150		
能登半島地震災害義援金	293,692	能登半島地震災害義援金	293,692
<b>【積立金残高】100周年記念事業</b>	<b>500,000</b>		
		<b>期末募金残高</b>	<b>4,581,280</b>
		<b>【積立金残高】100周年記念事業</b>	<b>500,000</b>

いつもニコニコ活動に温かい  
ご協力をいただきありがとうございます  
います。次年度も引き続きご支援  
のほどよろしくお願い致します。

ニコニコ推進委員会

